様式３（2020.06改）

作成日　令和　4年　11月　30日

# 外部評価軽減要件確認票

| 事業所番号 | 2372600979 |
|---|---|
| 事業所名 | グループホーム 虹の家 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|---|---|---|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２） | 評価 |
| | 町内会に加入し、地域の行事や文化祭、近隣の学校行事などに積極的に参加していたが、今年もコロナ禍により地域行事は中止となっている。ホーム主催の「ふれあいの会」や、ハンドセラピー、傾聴、レクリエーションなどの生活支援ボランティア、中高生の体験学習、実習生の受け入れなども自粛をしている。ボランティアの方の好意で季節のお花を頂いたり、四季の花見や公園などへは車窓から季節の移ろいや風情を楽しみ、今までとは違う形の交流に心がけている。今後、地域とは状況を確認しながら再開していく予定にしている。 | ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３） | 評価 |
| | 家族や民生委員、市議会議員、地域包括職員の参加を得て年6回実施しているが、現在はコロナ禍により書面開催としている。事業所の運営や活動状況の報告、防災訓練状況報告や行事予定などをわかり易く工夫をし報告している。意見や提案等は電話で聴取し、職員で協議してサービスの向上に活かしている。議事録は、家族や民生委員、市議会議員、地域包括職員へ送付し、会議内容を伝えている。 | ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：４） | 評価 |
| | 担当窓口とは、申請等の代行業務、活動報告などを伝え良好な協力関係を深め、運営推進会議に地域包括の職員が毎回参加し情報やアドバイスを得ているが、現在は書面開催となっている。また、連絡協議会や事業者集団講習会にも参加していたが現在は自粛をしている。「東三河ほいっぷネットワーク」の「電子連絡帳システム」を利用して市の情報入手や事業所間の情報共有、医療連携など協力体制を築きサービスに反映している。コロナ感染症の状況を確認しながらWebや対面での研修にも参加をしている。 | ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６） | 評価 |
| | 入居者からは日々のケアの中から思いを聞き、意見や要望などは連絡ノートに記録し、ミーティングで検討してケアに反映させている。家族とは、面会時やケアプランの見直しの折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。コロナ禍において面会や行事は自粛していたが、感染予防対策を万全にして状況を見ながら、玄関先や窓越し、届け物や衣替えなどの機会を通して面会できるように心がけている。入居者の様子を担当職員が毎月書面で報告し、年6回発行する「グループホーム虹の家かわら版」は、コロナ感染症の情報提供や、行事の写真、コメント、予定などが記載され、家族に安心を届けている。コロナ禍の中で、事業所から家族に向けて手紙を添える機会が多くなった。 | ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ◎ |

【備考欄】

運営推進会議については、新型コロナウィルス感染症予防対策の一環として書面での会議開催を実施し、報告書を家族、市や地域の役職に配布して家族や地域との情報のパイプが途切れないよう努めている。近隣の散歩やドライブを通して地域との関わりを忘れない様に努めている。面会は自粛をしていたが、感染予防対策を万全にして状況を見ながら、玄関先や窓越し、届け物や衣替えなどの機会を通して随時面会できるように心がけている。コロナ禍の中で、事業所から 家族に向けて電話や手紙を添える機会が多くなった。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|---|---|
| ２．事業所と地域のつきあい | （例示）<br>① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。<br>② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| ３．運営推進会議を活かした取り組み | （例示）<br>① 運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。<br>② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| ４．市町村との連携 | （例示）<br>① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。<br>② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| ６．運営に関する利用者、家族等意見の反映 | （例示）<br>① 家族会を定期的（年２回以上）に開催している。<br>② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。<br>③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | R元年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価 | － | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 実施年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 | R12年度 |
| 総合評価 | ◎ | ○ | ◎ | | | | | | | | |